

広島大学法科大学院

小論文試験

2022年11月12日(土)

10:00~11:10

注意事項

- 1 ページ数は、表紙を除いて5ページです。
- 2 解答用紙は2枚、下書用紙は1枚です。問いごとに解答用紙があります。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に横書きで書いてください。罫線外及び裏面を使用してはいけません。なお、使用する筆記用具の指定はありません。
- 4 解答用紙の所定の箇所には、受験番号のみを記入してください。氏名を書いてはいけません。
- 5 配布した解答用紙は持ち出してはいけません。
- 6 試験時間の途中で退室することはできません。
- 7 試験終了後、問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。

【問題】

以下の文章は、「相対主義」について述べたある著書からの抜粋である。この文章を読んで、次の問いに答えなさい。なお、出題に際して、一部省略・変更した箇所がある。

第1問（60点）

著者は、「相対主義のパラドクス」（2頁下線部）に対し、どのような論拠に基づき、どのような結論に至ったか。「真理に関する相対主義」とは何かを明らかにした上で、「ある論者」（3頁下線部）の考え方にも言及しつつ、分かり易い言葉で説明しなさい。

第2問（40点）

仮にあなたが、「すべてのことに対して寛容でなくてはならない」という信条を持っているとする。このようなあなたの信条に対し、あなたの隣人が賛成できないと述べた場合、あなたはその考えにも寛容な態度をとるべきか。「相対主義のパラドクス」に対する著者の見解も踏まえて（賛否いずれの立場でもよい）、あなた自身の考えを述べなさい。